

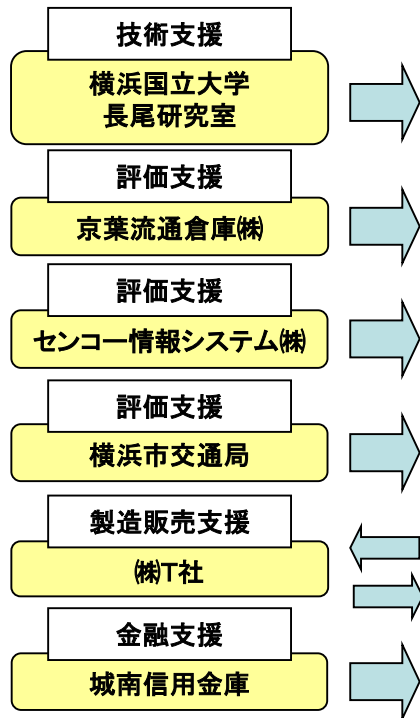
地域	神奈川県横浜市	認定日	平成30年6月8日	3-30-300
事業分類	情報通信	テーマ分類	IT	

事業名: 運輸業界向け人工知能搭載型運転危険予兆リアルタイム検知サービスの開発

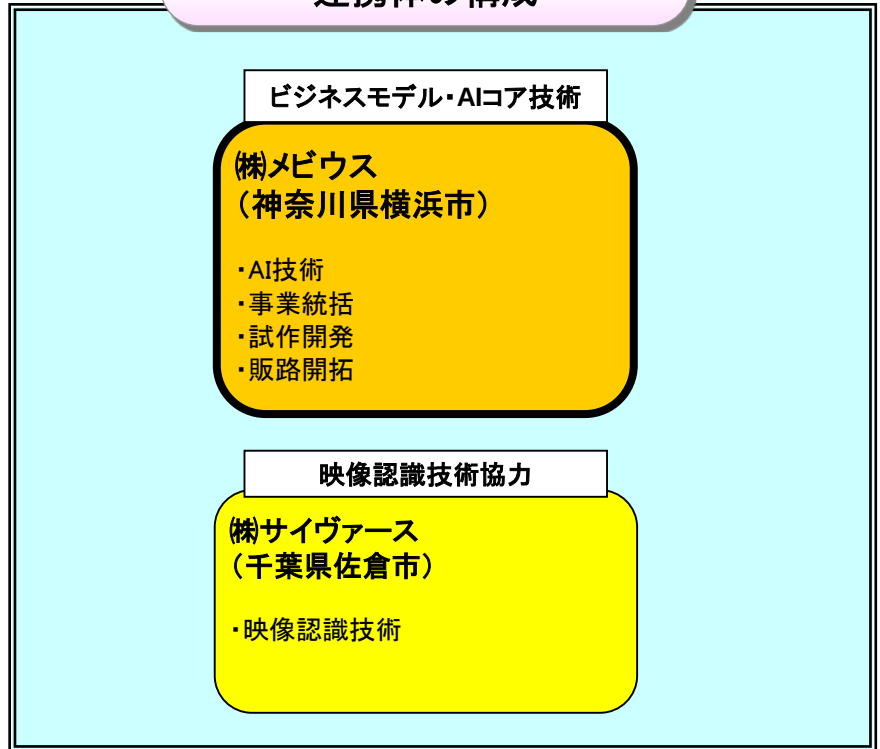
○事業概要

安全対策が急務となっている運輸業界では、交通事故防止や安全運転指導への活用を目的として、ドライブレコーダの導入が進んでいる。しかし、安全運転指導に活用するには、回収された膨大な映像データを目視で確認し、ヒヤリハットの場面などを切り出す必要があるため、ほとんど活用できていないのが実情である。また、現在のドライブレコーダは、事故発生後の検証には有益であるが、交通事故を未然に防止する機能は持ち合わせていない。本事業のコンセプトの第1は、人工知能(AI)を活用し、膨大な映像データの中から、ヒヤリハットの場面を自動的に抽出し、安全運転指導への活用を促進するサービスを提供することである。コンセプトの第2は、第1の学習を通じて得られた知見をエッジ側(車載器)のAIに移植することにより、危険予兆と違和感をリアルタイムに認識し、ドライバーへ警告するサービスを提供することである。この二つのコンセプトの相乗効果によりAIが強化され、警告できるヒヤリハットが増えるなどサービスの付加価値は継続的に向上する。

事業推進体制

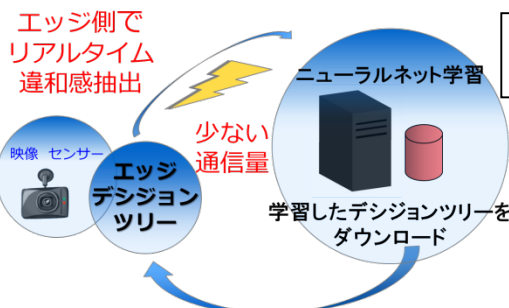


連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②低利融資(政策公庫)
- ②信用保証
- ③特許料減免



右前方のバイクが、トラックを避けるために割り込んでくる危険性大



AIにより画像の「違和感」ならびに「危険」を認識し、警告する